

企画展Ⅱ

中也の 住也の 町

石合木
法
んだ

2020.11.18 [WED] - 2021.4.11 [SUN]

入館料/一般330円(275円) 学生 220円(165円)

70歳以上[要証明書]、18歳以下無料 ※()内は20名以上の団体料金

開館時間/午前9:00～午後5:00(入館は4:30まで)

休館日/毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、毎月最終火曜日、12/28～1/4、2/16

主催/公益財団法人山口市文化振興財団

協力/鎌倉文学館

中原中也記念館

Nakahara Chūya Memorial Museum

鎌倉

企画展Ⅱ

中也の住んだ町 鎌倉



昭和12年2月、中原中也は東京・市ヶ谷から鎌倉の寿福寺境内に建つ借家に転居します。その3ヶ月前、長男の文也を病で喪った中也は、衝撃で心身を病み、約2ヶ月間入院。鎌倉への転居は、愛児との思い出が色濃く残る東京での生活を望まぬゆえの決断でした。

鎌倉には友人たちが多く居を構えていました。当時の日記には、彼らとの交友や、気の向くまま読書に耽る様子が淡々と記されています。その静かな生活のなかで、中也は詩の創作やフランス詩の翻訳に取り組みました。しかし、10月に結核性脳膜炎を発病。山口への帰郷を望みながらも鎌倉の地で30歳の生涯を閉じました。

本展では、日記や書簡、鎌倉で制作された詩などを通じ、中也が鎌倉で過ごした最期の238日間とはどのようなものだったのか、その軌跡を辿ります。

中原中也、最期の238日。



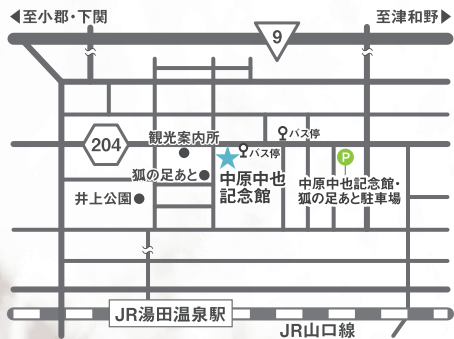
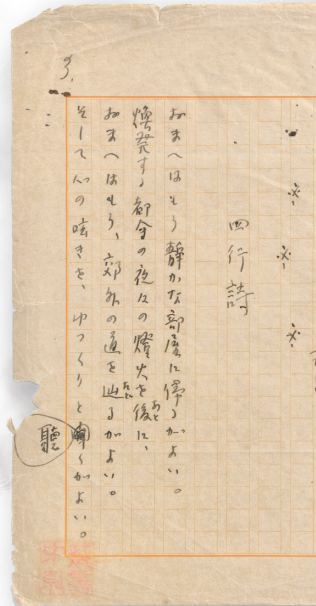
中原中也 29歳

中原中也 原稿「四行詩」最後に書かれた詩。

鎌倉の家で使用していた自筆の表札



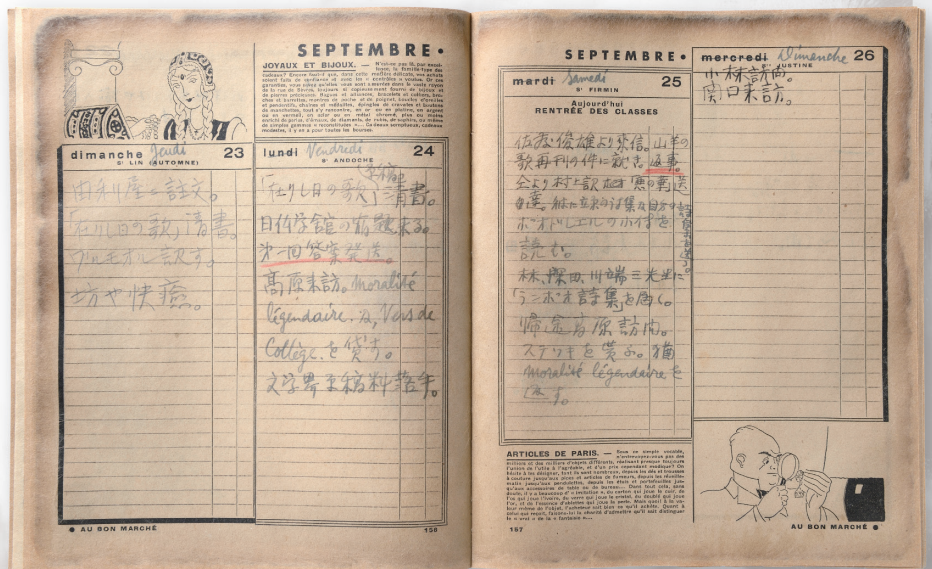
詩集『在りし日の歌』中也が鎌倉で原稿を清書し、没後刊行された。



中原中也記念館 Nakahara Chūya Memorial Museum

〒753-0056 山口県山口市湯田温泉 1-11-21
tel. 083-932-6430 fax. 083-932-6431
URL. <https://www.chuyakan.jp/>

ご来館の際は、マスク着用・手指消毒等、新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願いいたします。



中原中也「ポン・マルシェ日記」鎌倉での日々が綴られている。

表面写真：戦前の絵葉書より 裏面左上地図：「鎌倉 江の島 名所案内」より